

平成20年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果の概要
 (公立小・中学校における不登校の状況及び高等学校における中途退学者、長期欠席の状況について)
 滋賀県教育委員会事務局学校教育課

1 小学校及び中学校における不登校の状況について

(1) 不登校の定義

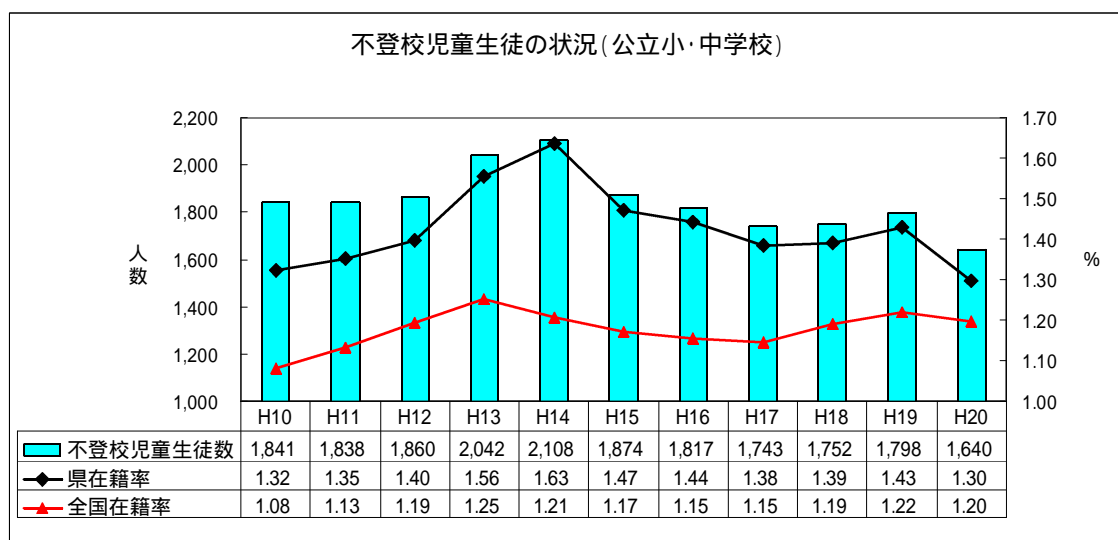
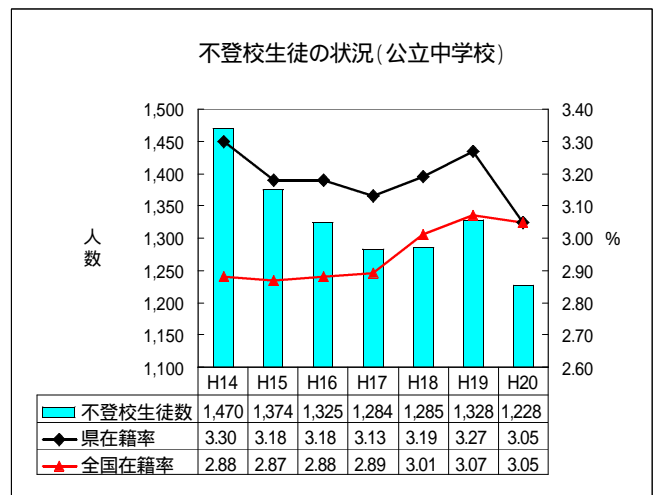
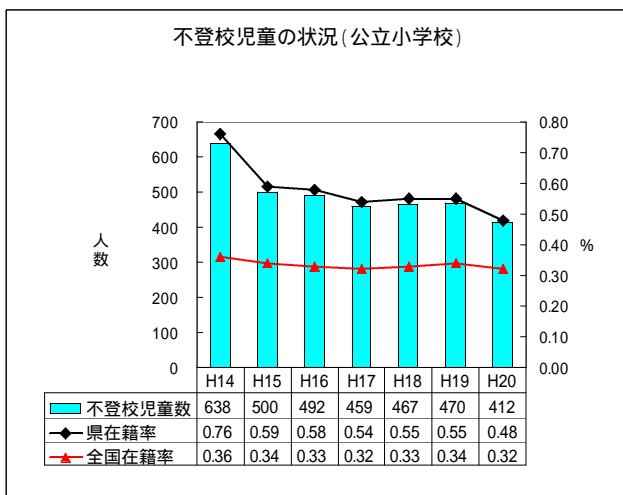
何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあって、年間30日以上欠席した者(ただし、病気や経済的理由等によるものを除く)。

(2) 不登校児童生徒数及び在籍率

公立小学校における不登校児童数は、412人で前年度より58人減少した。在籍率は0.48%で前年度より0.07ポイント減少した。 <表(1)>

公立中学校における不登校生徒数は、1,228人で前年度より100人減少した。在籍率は3.05%で前年度より0.22ポイント減少し、全国平均とほぼ同じ値となった。 <表(1)>

小・中学校合わせた不登校児童生徒数は、1,640人で前年度より158人減少した。在籍率は1.30%で前年度より0.13ポイント減少し、平成10年度以降最小値となった。 <表(2)>



(3) 不登校状態が継続している理由

小・中学校ともに、登校の意志はあるが身体の不調を訴え登校できない、漠然とした不安を訴え登校しない等、「不安など情緒的混乱」によるものが最も多く、全国と比較しても高い数値となっている。 <表(3)>

不登校児童生徒数及び在籍率が減少した背景

(1) 不登校状態の解消

多面的な子ども理解の浸透（教職員の実践力向上）

- ・ ケース会議等による子どもを取り巻く環境などの多面的な情報の共有
- ・ 家庭、学校、社会など様々な環境に焦点を当てた見立て（アセスメント）
- ・ 環境への働きかけを意識した合理的な手だて（プランニング）
- ・ 実践の評価・分析に基づく再アセスメントとプランニング

上記の手法が県内の各学校に浸透し、教職員の実践力が向上

多様な子ども支援の充実（各種相談員・支援員や関係機関との連携強化）

- ・ 不登校対応コーディネーターの養成による組織対応の充実
- ・ 各種相談員・支援員の役割の明確化による活用効果の向上
- ・ 市町福祉課等の関係機関との連携強化による多様な子ども支援の広がり

(2) 不登校の未然防止、早期対応

早期段階からのきめ細かな組織対応

- ・ 3日連続欠席すれば、必ず家庭訪問を実施
- ・ 行き渋りが見られたら、ケース会議を開催して支援方法を検討

心のサインを見逃さない対応

- ・ 定期的なアンケートや個別面談の実施
- ・ 「早期発見チェックポイント」の周知

魅力ある学校づくりの推進

- ・ わかる授業の創造
- ・ 豊かな体験活動の実施
- ・ 児童会、生徒会活動の活性化

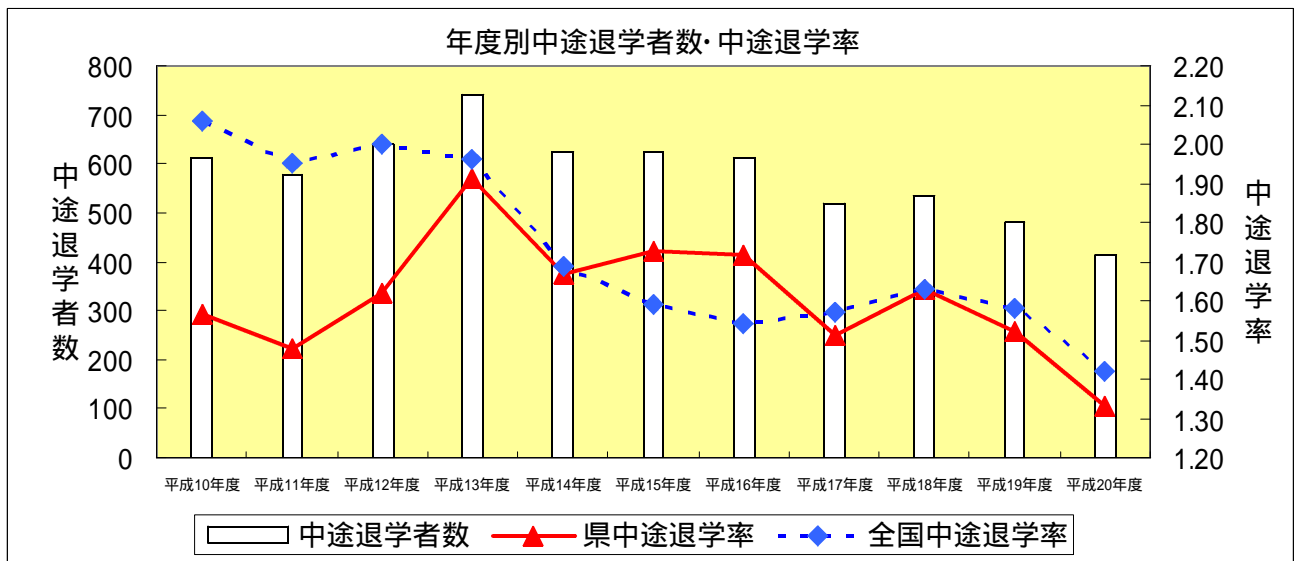
2 高等学校における中途退学者数の状況について（県立全日制）

(1) 中途退学者数 <表(4)>
 県立高等学校全日制における中途退学者数は、414人で前年度より65人減少した。中途退学率は1.33%で前年度より0.19ポイント減少した。

(2) 学年別中途退学者数 <表(4)>
 1年生の中途退学者数は、264人で前年度より36人減少した。2年生の中途退学者数は109人で前年度より32人減少した。

(3) 学科別中途退学者数 <表(5)>
 普通科の中途退学者数は、258人で前年度より11人減少した。農業学科の中途退学者数は、49人で前年度より28人減少した。

(4) 理由別の中途退学者数 <表(6)>
 『進路変更』が平成19年度に引き続き最も高い割合（39.9%）になった。
 「人間関係がうまく保てない」（55人 28人）「就職を希望」（100人 69人）が前年度より大きく減少した。



3 高等学校における長期欠席の状況について（県立・全日制、定時制）

平成19年度より長期欠席者の中から休学者を除いた集計を行った。

- (1) 長期欠席者数および不登校生徒数 <表(7)>
県立高等学校における長期欠席については、年間30日以上長期欠席者数が745人で、前年度より234人減少した。長期欠席者のうち不登校生徒数は460人で、前年度より144人減少した。
- (2) 全日制、定時制別の不登校生徒数 <表(8)>
全日制では371人で、前年度より137人減少した。
定時制では89人で、前年度より7人減少した。
- (3) 不登校状態が継続している理由 <表(9)>
不登校が継続している理由で前年度まで最も多かった「無気力」(30.2%)を、「不安など情緒的混乱」(35.4%)が上回った。

高等学校において中途退学者及び長期欠席者の減少に効果があった取組

- ・ 多様な子どもの見方やとらえ方に基づく粘り強い指導。
 - ・ 子どもの見立て（アセスメント）と手だて（プランニング）によるケース会議の実施。
 - ・ 教師一人ひとりによる生徒への日頃からの「声かけ」と個人面談等の積極的なかかわり。
 - ・ スクールカウンセラーや特別支援コーディネーター、学生支援員等との有効な連携。
-
- ・ 生徒に学ぶ意欲を与えるためのわかりやすい授業の展開。
 - ・ 少人数授業や補習等の実施による基礎学力の定着。
 - ・ 体験活動等の特別活動や部活動による自己有用感の育成。
-
- ・ 入学時におけるオリエンテーション等による円滑な人間関係づくりと早期の適応指導。
 - ・ 中学校及び高等学校における系統的なガイダンスによる進路指導の充実。
 - ・ 遅刻指導等の組織的な対応による基本的な生活習慣の確立と安心して学べる学校づくり。

1 小学校及び中学校における不登校の状況について

(1) 小学校・中学校別不登校児童生徒数(30日以上欠席)

表(1)

	滋賀県小学校(公立)			全国小学校(公立)		滋賀県中学校(公立)			全国中学校(公立)	
	児童総数	不登校児童数	在籍率(%)	不登校児童数	在籍率(%)	生徒総数	不登校生徒数	在籍率(%)	不登校生徒数	在籍率(%)
平成16年度	84,481	492	0.58	23,189	0.33	41,624	1,325	3.18	97,798	2.88
平成17年度	84,883	459	0.54	22,566	0.32	41,008	1,284	3.13	96,972	2.89
平成18年度	85,602	467	0.55	23,644	0.33	40,266	1,285	3.19	99,959	3.01
平成19年度	85,496	470	0.55	23,752	0.34	40,595	1,328	3.27	102,200	3.07
平成20年度	86,348	412	0.48	22,506	0.32	40,217	1,228	3.05	100,803	3.05

平成20年度については速報値である。

(2) 不登校児童生徒数(30日以上欠席)

表(2)

	滋賀県小・中学校(公立)			全国小・中学校(公立)	
	児童生徒総数	不登校児童生徒数	在籍率(%)	不登校児童生徒数	在籍率(%)
平成16年度	126,105	1,817	1.44	120,987	1.15
平成17年度	125,891	1,743	1.38	119,538	1.15
平成18年度	125,868	1,752	1.39	123,603	1.19
平成19年度	126,091	1,798	1.43	125,952	1.22
平成20年度	126,565	1,640	1.30	123,309	1.20

(3) 不登校状態が継続している理由(構成比%)

表(3)

小学校

	滋賀県(公立)								
	いじめ	いじめを除く他の児童生徒との関係	教職員との関係	その他の学校生活上の影響	あそび・非行	無気力	不安など情緒的混乱	意図的な拒否	その他
平成18年度	0.9	9.2	1.5	4.7	3.4	15.4	53.3	4.1	10.5
平成19年度	0.4	10.4	0.9	4.9	0.2	20.2	50.2	4.9	15.1
平成20年度	0.2	9.2	0.5	6.6	0.5	23.8	53.4	5.3	15.5
	全国(公立)								
	いじめ	いじめを除く他の児童生徒との関係	教職員との関係	その他の学校生活上の影響	あそび・非行	無気力	不安など情緒的混乱	意図的な拒否	その他
平成18年度	1.2	8.4	1.6	5.2	1.0	28.2	42.1	5.9	18.9
平成19年度	1.0	8.7	1.7	5.2	0.9	28.2	42.0	6.1	20.6
平成20年度	0.8	9.2	1.7	5.5	1.0	28.6	43.0	6.5	20.8

中学校

	滋賀県(公立)								
	いじめ	いじめを除く他の児童生徒との関係	教職員との関係	その他の学校生活上の影響	あそび・非行	無気力	不安など情緒的混乱	意図的な拒否	その他
平成18年度	0.8	13.2	0.2	8.8	5.4	22.2	42.0	5.4	4.2
平成19年度	0.3	15.3	0.2	6.7	5.7	20.9	45.9	6.0	7.8
平成20年度	0.1	15.7	0.2	7.7	6.1	25.9	40.1	4.5	5.3
	全国(公立)								
	いじめ	いじめを除く他の児童生徒との関係	教職員との関係	その他の学校生活上の影響	あそび・非行	無気力	不安など情緒的混乱	意図的な拒否	その他
平成18年度	1.1	13.2	0.9	7.7	11.2	27.8	33.1	6.5	9.0
平成19年度	1.1	14.1	0.8	7.4	11.2	29.1	33.1	6.7	9.6
平成20年度	1.0	14.3	0.7	7.4	12.3	29.7	32.7	6.8	9.9

複数回答可

パーセンテージは、各区分における不登校児童生徒数に対する割合

2 高等学校における中途退学者数の状況について（県立全日制）

(1) 年度別・学年別中途退学者数・中途退学率

表(4)

	1年	2年	3年	計	在籍者数	中途退学率(%)	全国中途退学率
平成16年度	405	163	44	612	35,594	1.72	1.54
平成17年度	336	153	29	518	34,283	1.51	1.57
平成18年度	337	145	52	534	32,740	1.63	1.63
平成19年度	300	141	38	479	31,498	1.52	1.58
平成20年度	264	109	41	414	31,118	1.33	1.42

(2) 学科別中途退学者数・中途退学率

表(5)

		普通	農業	工業	商業	家庭	その他	総合	計
平成16年度	中途退学者	399	80	57	16	18	9	33	612
	在籍者	24,829	1,329	2,917	1,908	807	1,054	2,750	35,594
	中途退学率	1.61	6.02	1.95	0.84	2.23	0.85	1.20	1.72
平成17年度	中途退学者	322	47	73	11	24	11	30	518
	在籍者	23,599	1,307	2,835	1,814	801	1,024	2,903	34,283
	中途退学率	1.36	3.60	2.57	0.61	3.00	1.07	1.03	1.51
平成18年度	中途退学者	325	63	67	12	16	9	42	534
	在籍者	22,707	1,335	2,719	1,467	559	921	3,032	32,740
	中途退学率	1.43	4.72	2.46	0.82	2.86	0.98	1.39	1.63
平成19年度	中途退学者	269	77	68	9	7	16	33	479
	在籍者	21,692	1,300	2,593	1,426	512	920	3,055	31,498
	中途退学率	1.24	5.92	2.62	0.63	1.37	1.74	1.08	1.52
平成20年度	中途退学者	258	49	58	12	5	5	27	414
	在籍者	21,370	1,249	2,556	1,423	494	931	3,095	31,118
	中途退学率	1.21	3.92	2.27	0.84	1.01	0.54	0.87	1.33

(3) 学年別理由別中途退学者数(文部科学省調査項目による分類)

表(6)

理由	年度・学年	学業不振	学校生活・学業不適應					進路変更					病気・けが・死亡	経済的理由	家庭の事情	問題行動等	その他の理由	合計
			活もわ授う人合学そ にともか業ま間わ校の 熱もか業ま間わ校の 意もか業ま間わ校の がとともか業ま間わ校の ない高生	もともか業ま間わ校の ない高生	わともか業ま間わ校の ない高生	うともか業ま間わ校の ない高生	人ともか業ま間わ校の ない高生	合ともか業ま間わ校の ない高生	学ともか業ま間わ校の ない高生	そともか業ま間わ校の ない高生	入別の 学高 を校 希向 望への	の専 入修 学各 を種 希各 望校 への						
平成16年度	1年	42	82	36	26	14	22	51	6	83	2	7	4	10	7	13	0	405
	2年	14	17	15	16	9	8	12	4	38	7	4	4	3	4	8	0	163
	3年	1	2	4	2	0	3	3	0	13	4	0	4	0	4	4	0	44
	計	57	101	55	44	23	33	66	10	134	13	11	12	13	15	25	0	612
	割合(%)	9.3	16.5	9.0	7.2	3.8	5.4	10.8	1.6	21.9	2.1	1.8	2.0	2.1	2.5	4.1	0.0	100
			41.9					38.2										
平成17年度	1年	29	59	33	37	13	10	50	5	70	9	7	1	1	4	8	0	336
	2年	13	18	13	13	3	5	10	4	38	11	5	4	3	8	5	0	153
	3年	1	3	2	3	2	1	2	1	3	4	1	1	1	1	3	0	29
	計	43	80	48	53	18	16	62	10	111	24	13	6	5	13	16	0	518
	割合(%)	8.3	15.4	9.3	10.2	3.5	3.1	12.0	1.9	21.4	4.6	2.5	1.2	1.0	2.5	3.1	0.0	100
			41.5					42.5										
平成18年度	1年	36	78	30	19	15	14	39	2	54	15	10	4	0	5	16	0	337
	2年	6	12	20	15	7	4	13	6	27	6	10	3	0	8	8	0	145
	3年	4	3	9	5	4	2	3	1	5	7	3	3	1	2	0	0	52
	計	46	93	59	39	26	20	55	9	86	28	23	10	1	15	24	0	534
	割合(%)	8.6	17.4	11.0	7.3	4.9	3.7	10.3	1.7	16.1	5.2	4.3	1.9	0.2	2.8	4.5	0.0	100
			44.4					37.6										
平成19年度	1年	30	40	23	33	20	8	48	6	60	4	9	5	1	6	7	0	300
	2年	8	11	17	19	4	9	2	1	33	15	5	4	0	6	6	1	141
	3年	5	2	1	3	3	1	1	1	7	5	1	4	0	3	1	0	38
	計	43	53	41	55	27	18	51	8	100	24	15	13	1	15	14	1	479
	割合(%)	9.0	11.1	8.6	11.5	5.6	3.8	10.6	1.7	20.9	5.0	3.1	2.7	0.2	3.1	2.9	0.2	100
			40.5					41.3										
平成20年度	1年	29	38	33	14	11	8	53	5	33	6	7	7	0	5	15	0	264
	2年	6	9	13	8	2	6	5	2	34	8	4	2	3	6	1	0	109
	3年	1	2	4	6	3	4	0	0	2	5	1	4	1	3	4	1	41
	計	36	49	50	28	16	18	58	7	69	19	12	13	4	14	20	1	414
	割合(%)	8.7	11.8	12.1	6.8	3.9	4.3	14.0	1.7	16.7	4.6	2.9	3.1	1.0	3.4	4.8	0.2	100
			38.9					39.9										

3 高等学校における長期欠席の状況について（県立・全日制, 定時制）

(1) 理由別長期欠席者数

表(7)

		滋賀県					全 国				
		病 気	経済的 理由	不登校	その他	計	病 気	経済的 理由	不登校	その他	計
平成 18 年度	人 数	205	30	757	252	1,244	10,890	2,959	43,508	22,851	80,208
	在籍率(%)	0.61	0.09	2.26	0.75	3.72	0.45	0.12	1.78	0.93	3.28
平成 19 年度	人 数	148	19	604	208	979	10,850	2,639	40,495	21,921	75,905
	在籍率(%)	0.46	0.06	1.87	0.65	3.04	0.46	0.11	1.70	0.92	3.19
平成 20 年度	人 数	93	21	460	171	745	9,930	2,164	39,904	19,607	71,605
	在籍率(%)	0.29	0.07	1.44	0.54	2.34	0.42	0.09	1.70	0.83	3.04

平成20年度については、速報値である。

平成19年度以降については、休学者を含まないで集計したものである。

《「その他」の具体例》

- ・保護者の教育に関する考え方、無理解・無関心、家族の介護、家事手伝いなどの家庭の事情
- ・外国での長期滞在、国内・外への旅行等
- ・連絡先が不明
- ・長期欠席の理由が2つ以上あり特定できない

(2) 学科・学年別 不登校生徒数

表(8)

			滋賀県						全 国					
			1年	2年	3年	4年	単位制	全体	1年	2年	3年	4年	単位制	全体
平成 19 年 度	全 日 制	普通科 (割合%)	125 (1.7)	145 (2.0)	61 (0.9)	/	/	331 (1.5)	7,168 (1.5)	6,217 (1.3)	3,856 (0.8)	/	1,368 (1.5)	18,609 (1.2)
		専門学科	69 (3.0)	39 (1.7)	12 (0.6)	/	/	120 (1.8)	3,359 (1.6)	2,630 (1.3)	1,285 (0.6)	/	176 (1.9)	7,450 (1.2)
		総合学科	19 (1.7)	25 (2.6)	13 (1.3)	/	/	57 (1.9)	232 (1.6)	228 (1.8)	148 (1.2)	/	1,371 (1.5)	1,979 (1.5)
		小 計	213 (2.0)	209 (2.0)	86 (0.8)	/	/	508 (1.6)	10,759 * (1.5)	9,075 * (1.3)	5,289 * (0.7)	/	2,915 * (1.5)	28,038 (1.2)
	定時制	14 (10.9)				82 (22.0)	96 (13.1)	2,422 (13.0)	1,228 (8.5)	818 (6.0)	364 (3.6)	7,625 (15.9)	12,457 (11.9)	
	全 体	227 (2.1)	209 (2.0)	86 (0.8)	(0.0)	82 (22.0)	604 (1.9)	13,181 (1.8)	10,303 (1.5)	6,107 (0.9)	364 (3.6)	10,540 (4.4)	40,495 (1.7)	
平成 20 年 度	全 日 制	普通科 (割合%)	113 (1.6)	74 (1.1)	72 (1.0)	/	/	259 (1.2)	6,402 (1.4)	5,933 (1.3)	3,906 (0.9)	/	1,345 (1.4)	17,586 (1.2)
		専門学科	40 (1.7)	36 (1.7)	10 (0.5)	/	/	86 (1.3)	3,193 (1.5)	2,505 (1.2)	1,157 (0.6)	/	190 (1.7)	7,045 (1.1)
		総合学科	10 (0.9)	7 (0.7)	9 (0.9)	/	/	26 (0.8)	253 (1.8)	213 (1.6)	110 (0.9)	/	1,238 (1.3)	1,814 (1.3)
		小 計	163 (1.5)	117 (1.1)	91 (0.9)	/	/	371 (1.2)	9,848 (1.4)	8,651 (1.3)	5,173 (0.8)	/	2,773 (1.3)	26,445 (1.2)
	定時制	11 (13.4)	3 (5.5)			75 (13.3)	89 (11.4)	2,767 (15.4)	1,518 (11.1)	916 (7.2)	587 (6.4)	7,671 (15.0)	13,459 (12.8)	
	全 体	174 (1.6)	120 (1.2)	91 (0.9)	(0.0)	75 (13.3)	460 (1.4)	12,615 (1.8)	10,169 (1.5)	6,089 (0.9)	587 (6.4)	10,444 (4.0)	39,904 (1.7)	

(注1) *印の数値は、文部科学省から発表された数値ではなく、推計値である。

(注2) 斜線の欄は、調査が行われなかった。

(3)不登校状態が継続している理由(構成比%)

表(9)

		学校生活上の影響				あそび・非行	無気力	乱不安など情緒的混乱	意図的な拒否	その他
		いじめ	のいじめをの除く係他	係教職員との関係	活その他の影響の学校生					
平成18年度	全日制	0.3	14.6	0.3	19.0	9.8	35.3	24.2	16.1	1.9
	定時制	0.0	9.0	0.0	1.2	24.0	22.2	20.4	22.8	4.2
	滋賀県計	0.3	13.3	0.3	15.1	12.9	32.4	23.4	17.6	2.4
	全 国	0.5	9.7	0.5	10.8	11.8	27.1	22.8	9.2	15.2
平成19年度	全日制	0.6	14.6	1.2	19.7	6.9	31.9	30.1	15.7	2.6
	定時制	0.0	4.3	0.0	0.0	22.3	16.0	12.8	43.6	1.1
	滋賀県計	0.5	12.9	1.0	16.6	9.3	29.3	27.3	20.0	2.3
	全 国	0.4	10.3	0.5	10.6	11.8	27.6	23.4	8.8	14.9
平成20年度	全日制	0.8	11.6	1.3	19.4	8.4	28.8	34.8	15.9	4.3
	定時制	0.0	6.7	0.0	1.1	11.2	36.0	38.2	12.4	1.1
	滋賀県計	0.7	10.7	1.1	15.9	8.9	30.2	35.4	15.2	3.7
	全 国	0.3	9.9	0.5	9.6	11.6	30.8	23.5	9.6	13.7

複数回答可、パーセンテージは各区分における不登校生徒数に対する割合

「不登校状態が継続している理由」の具体的な内容

いじめ

- ・ いじめを受けているため登校できない。

いじめを除く他の児童生徒との関係

- ・ クラスになじむことができないなどの問題で登校できない。

教職員との関係

- ・ 教職員との人間関係で登校できない。

その他の学校生活上の影響

- ・ 授業がわからない、試験が嫌いであるなどの上記以外の学校生活上の影響で登校できない。

あそび・非行

- ・ 遊ぶためや非行グループに入ったりして登校しない。

無気力

- ・ 無気力でなんとなく登校しない。登校しないことへの罪悪感が少なく、迎えにいたり強く催促すると登校するが長続きしない。

不安など情緒的混乱

- ・ 登校の意志はあるが身体の不調を訴え登校できない、漠然とした不安を訴え登校しない等、不安を中心とした情緒的な混乱によって登校しない(できない)。

意図的な拒否

- ・ 学校に行く意義を認めず、自分の好きな方向を選んで登校しない。

その他

- ・ 上記のいずれにも該当しない。